

お知らせ

区議会を傍聴しましょう

本会議や委員会は、定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。

平成19年第4回定例会は、
11月27日(火)開会予定です。

(☎11月21日以降に区議会事務局へ)

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/
携帯サイト http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/

環境博覧会すぎなみ 2007

みんなでつくる「環境世紀」 地球を救えろ(^_^)q すぎなみ省エネ作戦
～ストップ・ザ・温暖化!「今わたしたちができること」～
9年10月13日(土)～14日(日) 主催:環境博覧会すぎなみ2007実行委員会/杉並区 後援:東京都



環境博覧会すぎなみ2007 躍動感あふれる舞

平成19年 第3回定例会

「平成18年度各会計歳入歳出決算」を認定

「後期高齢者医療制度の見直しをを求める意見書」などを可決

19年第3回定例会は9月21日から10月17日までの27日間の会期で開催されました。

初日は、特別委員会からの活動報告が行われた後、区政一般への質問が行われました。一般質問は27日までの4日間にわたり、18名の議員が質問しました。27日には、条例案、平成18年度各会計歳入歳出決算などの議案が上程され、提案理由の説明を受けた後、関係する常任委員会に付託しました。決算については、決算特別委員会が審査することを決定し、本会議終了後、直ちに決算特別委員会を開き、青木さちえ委員長、木梨もりよし副委員長を互選しました。28日から10月4日にかけては、各常任・特別委員会を開き、条例案などの審査を行いました。

5日から決算特別委員会で決算審査が行われ、16日には各会派の代表から意見の発表がありました。

最終日の17日は、各委員会から議案の審査経過が報告され、追加議案を含む各議案を原案どおり可決して第3回定例会を閉会しました。

第3回定例会で審議した議案等の結果

○=賛成 ×=反対
(民主、一部の議案で欠席者あり) 平成19年10月17日議決

番号	議案名等	杉自	公明	民主	共産	社民	杉ク	生ネ	自民	革新	無	杉わ	無区	結果
議案第57号	杉並区行政財産使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
議案第58号	杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	杉並区立地区民センター及び区民集会所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
議案第60号	杉並区産業融資資金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
議案第62号	杉並区立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
議案第63号	杉並区立図書館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
議案第64号	杉並区立高円寺南保育園外一施設改築及び防災関連施設建築工事の請負契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	可決
議案第65号	杉並区立高井戸小学校校舎改築及び(仮称)高井戸北自転車駐車場空気調和設備工事の請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
議案第66号	議会の議決を経た契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
議案第67号	平成19年度杉並区一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	可決
議員提出議案第6号	第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	可決
議員提出議案第7号	後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
議員提出議案第8号	沖縄戦「集団自決」についての教科書検定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
議員提出議案第9号	沖縄戦「集団自決」の日本軍関与を否定する教科書検定意見の撤回を求める意見書	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※議決不要
議員提出議案第10号	高校日本史教科書検定における沖縄戦「集団自決」に関する検定意見の撤回を求める意見書	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※議決不要
認定第1号	平成18年度杉並区一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	認定
認定第2号	平成18年度杉並区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	認定
認定第3号	平成18年度杉並区老人保健医療会計歳入歳出決算	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	認定
認定第4号	平成18年度杉並区介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	認定

※ 議員提出議案第9号、10号は議員提出議案第8号を可決したので一事不再議の原則により議決を要しないものと決定
(会派名・構成人数)
杉自/杉並自民議員倶楽部(13人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民主/民主党杉並区議団(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、社民/社会民主党・みどり(3人)、杉ク/区政杉並クラブ(3人)、生ネ/区議会生活者ネットワーク(2人)、自民/自由民主党杉並区議団(2人)、革新/都政を革新する会(1人)、無/無所属(1人)、杉わ/杉並わくわく会議(1人)、無区/無所属区民派(1人)

主な議案の概要

条例改正

事務手数料条例の一部改正
温泉の利用の許可を受けた地位の承継の承認申請手数料を定める等の必要があるため改正する。
(一部の規定を除き、19年10月20日施行)

契約

高円寺南保育園外一施設改築及び防災関連施設建築工事(場所:高円寺南4-44)
保育園外一施設の改築及び災害時における組織体制を迅速に整えるため、防災宿舎を建築する。契約金額は、五億四千万円。契約の相手方は渡

産業融資資金条例の一部改正
「責任共有制度」が導入されることに伴い、小口融資資金を創設する必要があるため改正する。
(19年10月18日施行)

廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正
廃棄物処理手数料を改定する必要があるため改正する。

予算

19年度一般会計補正予算(第2号)
特別養護老人ホームの建設助成や認定子ども園の助成など、14事業の補正と2事業の財源更正、債務負担行為及び地方債の補正のため、二十五億五千七百二十五万五千円の追加。予算総額一千五百五十一億六千四百二十二万円。

陳情

10月17日の本会議で、次のとおり決定しました。
△採択▽
☆東京オリンピック招致に関する陳情
(19陳情第59号)

日誌	議
23日	災害対策特別委員会
22日	都市環境委員会
17日	本会議
16日	議会運営委員会
15日	決算特別委員会
9日	決算特別委員会
5日	決算特別委員会
4日	医療問題調査特別委員会
3日	道路交通対策特別委員会
2日	清掃・リサイクル対策特別委員会
1日	保健福祉委員会
28日	文教委員会
27日	総務財政委員会
25日	災害対策特別委員会
21日	本会議
14日	議会運営委員会
11日	委員会
4日	清掃・リサイクル対策特別委員会
28日	文教委員会
24日	総務財政委員会
23日	委員会
3日	災害対策特別委員会
2日	保健福祉委員会
1日	都市環境委員会

《会派名》

杉自/杉並自民議員倶楽部 公明/杉並区議会公明党 民主/民主党杉並区議団 共産/日本共産党杉並区議団
杉み/社会民主党・みどり 杉ク/区政杉並クラブ 生ネ/区議会生活者ネットワーク 自民/自由民主党杉並区議団
革新/都政を革新する会 無/無所属 杉わ/杉並わくわく会議 無区/無所属区民派

一般質問

区政一般について18名の議員が質問しました。その一部要旨をお知らせします。

民営化・民間委託化で不安定雇用者を増やしてはならない



北島邦彦 (革新)

構造改革政治と反労働者施策を推し進める「すぎなみ五つ星プラン」にスマートすぎなみ計画」は抜本的見直しを。

区民ニーズに的確に対応し、「人が育ち、人が活きる杉並区」を実現するためのもの。計画を見直す考えはない。

労働者の不安定雇用化や低賃金化を生み出す民営化・民間委託化の施策はただちにストップさせるべき。

サービスの向上・拡大、経費の節減、地域の活性化等が期待できる事業は民営化・民間委託を進めていきたい。

区は独自施策である小規模作業所・精神「障害者」共同作業所の維持に責任を持って、新事業体系への円滑な移行を目指し支援を進めていく。



吉田あい (杉自)

災害時のペット同行避難訓練の実施状況、周知方法、今後の対策について問う。

平成15年度から香掛小、杉並第六小、永福小、杉森中の順で防災訓練の中で実施。19年度は11月4日に馬橋小学校・馬橋公園で震災訓練・防災関係機関訓練の中で実施予定。広報すぎなみ、チラシで周知している。今後は、避難マニュアルの策定等獣医師会等と連携を図り進めていく。

正しい投票の周知・訂正

の仕方、非拘束名簿式への理解等啓発活動について問う。

広報紙、区ホームページ、選挙だより、投票所でのポスター掲示等で周知。今後とも有権者が投票の際に戸惑わないよう研究していきたい。

天下り子会社による売電事業の矛盾は明らかだ



堀部やすし (無)

東京23区は、ごみ発電による売電事業に本格的に乗り出す。そのため第3セクターも設立され、天下り職員が入社している。しかし、現在の計画のまま事業を拡大させることは危険だ。

23区に先行して売電事業で収益を確保することを目論んだ福岡県の大牟田リサイクル発電所は、近年ごみ量が減少し、開業以来5年連続の赤字である(累積赤字7億円)。

赤字を防止すべくゴミ焼却量を増やすという矛盾した事態になれば大問題である。現在の事業計画は再考すべきだ。

株式会社であることから、収益性のある効率的な経営が必要である。経営については透明性をしっかりと求めていく。



井口かず子 (杉自)

杉並中継所の廃止にあたり解決すべき課題と廃止後の施設利用について問う。

現在の利用区との調整、区で発生した不燃ごみの受入施設所在区等との課題を23区で検討、解決していく。安全

な施設であることを前提とし、清掃・リサイクルを推進する施設として検討していく。

杉並芸術会館を、国際的な演劇祭までできるような施設にしたいと考えるが如何か

日本を代表する劇場としての知名度と評価を得るため準備を進めている。海外の舞台芸術関係者などの独自のネットワークを構築し、積極的な事業展開を図り、国際的な演劇祭の実現も可能になるよう努力していきたい。

安心できる介護・健診・救急医療体制の充実を



くすやま美紀 (共産)

「日中独居」の高齢者に生活援助給付を認めないことがあつてはならないが如何か

個々の生活状況等を勘案し適切に判断していく。

来年度から実施の特定健診は、メタボリックシンドロームに特化した項目だけでなく、他の疾患の早期発見につながるための項目も実施せよ

糖尿病等の生活習慣病の予防を目的として実施。ガイドラインを基本としつつ実施方法等については現在検討中

産科を閉鎖する都立病院が増えている。医師の確保も含め、都立病院での産科を減らさないように働きかけられるべき。

情報を収集し意見を述べていきたい。

米下院の「従軍慰安婦」決議撤回を求める決議に名を連ねた区長は謝罪し、撤回を。

一政治家としての政治的信条に基づき行ったもので、撤回する意思はない。

犯罪被害者支援法に基づく刑事裁判への被害者参加制度は、被告人の権利を脅かすものであり反対すべき。

被害者参加は様々な議論があるが、必要なものと認識

教育基本条例は、改善教育基本法を教育現場で具体化することが目的ではないのか

そのような意図はない。

介護保険の利用料が払えずサービスを辞退する人々に対する対策は。

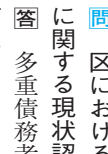
介護サービスを利用しやすい環境の整備に努めていく

わが区の救急搬送体制は万全か

荻窪小学校跡地の活用計画に関する住民説明会の開催状況について問う。

大宮前体育館移転改築の理由、施設整備に係る環境対策等の様々な質問・要望等にお答えし、計画案に対する理解を得よう努めた。

区における多重債務問題に関する現状認識をうかがう。



小松久子 (生ネ)

多重債務者・支払不能者が急増するなか、深刻な事例も多く、個人や家庭だけでは解決が困難な問題である。

問題解決に向けた区これまでの取組はどうか

区民に身近な相談体制の整備、解決困難ケースの専門機関への橋渡し、広報、消費者センターのホームページを通じた情報提供などを行った。

金融庁が策定した対策プログラムを受け、区の役割をどうとらえたか、また、今後の取組についてうかがう。

相談体制の充実、多重債務者の発見、消費者教育の充実、関係部課との連携などの対策に今後も取り組んでいく。

「官から民へ」を唱えれば全てうまくいくわけではない！

郵政民営化では千四十八局で集配業務の廃止、手数料の数倍化。杉並では民間委託によって介護、保育等の質の低下が問題に。この状況の総括と、安全性、信頼性を確保するというのが方策はあるのか

行政計画の成果は着実に。今後は委託後のモニタリングの仕組の構築に向け検討する。

阿佐ヶ谷住宅建替えにおいて、第一種住居地域での20m建築は近隣同意なしには到底承認できない。区は説明責任を果たしていないと思うが如何か。また隣接道路の未整備を都にどう説明したのか。

建設費組合に地権者への周知徹底と意向確認、周辺意見の考慮を要請。都の指摘には安全確保に努めると答えた



小倉順子 (共産)

負担の公平化?二重の税金」家庭ごみ有料化はやるべき

ごみ有料化が負担の公平化というが暮らしの条件で出さざるを得ない人もいる。区民は収入に応じて税金を払っている。「二重の税金」を課すことはやめるべき。

国も基本方針で有料化推進を示し、多くの自治体で実施し効果を上げている。二重の税金にはあたらない。

東京都後期高齢者医療広域連合試算の保険料は区民の納得を得られるのか。

試算は不確定条件での推計。今後、国の調整交付金の規模などにより決定。理解が得られるよう努力していく。

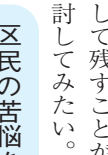
生活保護は最後のセーフティーネット。慎重な対応を。主訴の確かな把握、相談、助言等適正な運用に努める。

特別支援教育の方針・計画を、「トトロの住む家」の保存を

発達障がい支援の課題・検討状況。今後の進め方と受け入れが限界に達している

「子ども発達センター」拡充の積極的な対応について問う。

早期発見と支援体制の構築は重要な課題と認識している。「子ども発達センター」の現状の検証等を進め、適切な相談・支援体制を構築したい。



河津利恵子 (民主)

特別支援教育の基本方針と具体化のための計画の策定

総合的な推進計画を策定していきたいと考えている。

阿佐谷北5丁目の「トトロの住む家」の保存に向け積極的な努力を期待するが。

区民が心癒される場所として残すことができるよう検討してみたい。

区民の苦悩を取り除く相談体制の充実を!

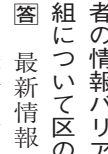
総合的な相談体制のあり方として、IT等を活用した横断的な対応と窓口の土日設置について検討すべき。

区民生活上起る問題が深刻・複雑化している状況下、IT活用を含めた庁内横断的な連携、かつ各機関との綿密な連携の体制強化と夜間・土日の相談体制を検討したい。

自殺を社会問題と位置づけ、総合的かつ全庁的な対策を講じるべきと考えるが。

自殺対策部会で全庁的な取組の推進を図っていく。

真に実のあるエコスクールづくりのために「環境教育」が非常に重要。取組を問う。



中村康弘 (公明)

環境学習の中で「エコスクール」に育てていく」という意識の醸成を進めて行く。

行政改革の今後の展開、視覚障害者のための情報バリアフリー

行政評価、PFI、民間事業化提案制度等を総合的にマネジメントし、全体最適の視点で評価・改善するシステムの構築が必要だと思うが。

行政評価、事務事業評価など効果の評価が大切。ご指摘の点も踏まえ目標の実現に向けて取り組んでいく。

今後の職員全体の意識教育・啓発計画について問う。

地域を知る力を持ち、区民の声の的確・敏感に伝える人材育成が重要と考えている。

IT技術を活用した障害者の情報バリアフリー化の取組について区の認識を問う。

最新情報の収集・提供、IT機器の活用も視野に入れ障害者の情報バリアフリーの実現等に努めていく。

杉並区の防災のあり方を問う



増田裕一 (民主)

地域の事情等を考慮し、総合震災訓練の日程変更は可能か。

様々なご意見をいただいている。来年度からは、実施時期なども考慮し、実践的で効果的な訓練とするよう努力していく。

水害を未然に防止するために定期的に浸漬(しゅんせつ)を行うべきではないか。

今後、治水の観点から必要に応じ河川の浸漬を行う。AEDの区内の設置状況を把握しているか。設置場所を地図等に記載すべき。

区以外の民間施設については十分情報を持っていない。民間の設置場所も含め収集しホームページ等で地図に落とししていきたい。

子育て支援の充実と外環道計画の今後について

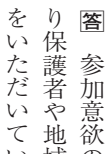
区独自のトワイライトズの導入を検討する考えは。保護者のニーズの把握に努め、同時に子どもの最善の



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

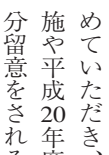
戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

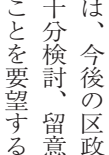
戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

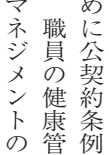
戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

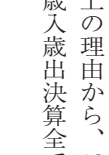
戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

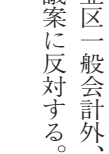
戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

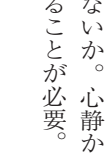
戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!



鈴木信男 (共産)

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

戦前の教育勅語に基づく教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく教育は許されない!

ホームページのご案内

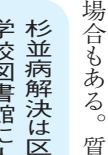
杉並区議会のホームページには、会議録・審議した議案・会議日程などを掲載しています。また、各年の活動実績をまとめた区議会年報や区議会だよりのバックナンバーなどもご覧いただけます。http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/



奥山たえ子 (社民)

区長公約は金科玉条かネコとの共生に地域の力を

区長は選挙マニフェストで「健康家族」の国保料均等割り相当減額策を発表。しかし区独自の軽減は実現性が低い。保険は互助的の制度であり、使わなかった人にご褒美というにもなじまない。つまり無理のある公約なのである。事前相談はしたか。知事も先般見直した。区長もどうか。



松尾ゆり (杉)

杉並病の「原因糾明」は区長の公約。いまだに健康不調の方が多く、解決されないのは公約違反ではないか。

杉並病の「原因糾明」は区長の公約。いまだに健康不調の方が多く、解決されないのは公約違反ではないか。国の公害等調整委員会で原因判定がなされており、原因糾明については一定の解決が図られていると認識している。

利益という観点、ワークライフバランスという課題も考慮しながら検討していきたい。外環地域P1会議の構成メンバーと議題項目を伺う。区民や国、都などが考えられるが未定。インターチェンジ周辺地域を対象、地下水など課題別に外環沿道地域で共通に行うものが考えられる。外環計画が区長意見の尊重なしで事業着手された場合、国都に対し措置を講じる考えは。区長意見に添えるよう働きかけるとともに、沿線区市と連携し、国と都に対応していきたい。

区長と面談した方のブログに、聞いた話として「教育基本法は、戦後に教育勅語を勝手に潰し、戦後教育の諸悪の根源となったもので、いらないもの。一番良いのは教育基本法をなくし、また、教育勅語のようなものをつくる。それに基づき、より良い教育を切磋琢磨していけば良い。教育基本法を改正するならば、国を愛する心の明記が必要」とあった。これは、教育基本法の位置付けを暗示する。教育基本法が「戦後教育の諸悪の根源、教育勅語に基づく良き教育、愛国心の明記必要」とのそれぞれの見解を求める。一個人のブログは主観で記載される内容で、不正確な場合もある。質疑は控えたい。

意見発表

将来を見据えた適切な財政運営を評価



藤本なおや

杉並区民議員倶楽部

わが会派は、18年度各会計歳入歳出決算全てを認定する。理由1 歳出の見直し、歳入の確保に努め、慎重な財政運営に努めた。理由2 実施計画の2年目にあたり、着実に事業の推進に努めた。理由3 経済情勢を的確に捉え、行財政改革を全庁あげて果敢に取り組んだこと。

財政健全化への総合的な取組と着実な自治体運営を評価



渡辺富士雄

杉並区議会公明党

わが公明党は、1行財政改革が適正に進められたか、2区民サービスが停滞してはいないか、に視点を定め、慎重かつ厳正に審査に臨んだ。その結果、18年度各会計歳入歳出決算の全てを認定する。以下、認定理由と要望を述べる。理由1 財政指標の更なる改善に大きな成果を上げた。財政健全化への総合的な取組。理由2 区民の満足度の向上を意識した重点施策への取組。理由3 協働等事業推進、職員定数削減目標の達成等着実な自治体経営改革を推進。

着実な区政運営と財政の健全化が図られたことを評価



河津利恵子

民主党杉並区議団

着実に区政運営を進め、財政の健全化が図られていることから、私たち民主党杉並区議団は、18年度各会計歳入歳出決算全てを認定する。以下、区政全般について、意見や要望を述べる。1 区民との協働で、家庭から排出されるCO2削減を。2 ひとり暮らし高齢者に対する施策の充実を求める。3 自殺予防対策を多様な機関と連携して、積極的に進めることを要望。

区民のくらしに背を向け、基金積み立ての決算に反対する



藤原淳一

日本共産党杉並区議団

地方自治体の責務は「地域の住民のくらしと福祉、健康や安全を守ること」である。わが会派は自治体の責務を行政運営の基本にすえたか、無駄遣いをなくし区民サービスを向上させたか、民主的な教育行政が進められたかの観点から審議した。第1 今の区民のくらしに目をむけず、くらしを応援しない、基金三昧の財政運営であった。第2 スマートすぎなみ計画は民間に仕事を売り飛ばすもので、自治体の解体を意味する。行財政改革は必要だが区の計画は民間優先にありきで容認できない。第3 子育て支援の強化、障害者や高齢者が安心して暮らせるよう施策の見直しを。第4 水害ゼロの目標を持つて対策を。三井の森、阿佐ヶ谷団地問題は、住民の声を十分に聞くべき。

格差の現状を把握し、区民需要に応える財政運営を



小野清人

社会民主党・みどり

ワーキングプア、ネットカフェ難民、格差社会という言葉が定着した。路上生活者など含めて区内の調査を行うべきである。財政においては、区債残高は大きく改善されているというが、債務負担行為や本来なら都区財調で担保されるべき学校の建替費用の支出、介護サービスの需要、生活保護世帯数は、今後も確実に伸びることが予想される。当区の財政は先行き楽観できる状況にはない。

「実感なき景気回復」、「格差拡大」の中で区の政策は



太田哲二

区政杉並クラブ

わが会派は、18年度各会計歳入歳出決算全てを認定し、意見を述べる。福祉問題 ①障害者自立支援法に対し、区が独自に障害者負担や事業者負担の軽減の支援を実施したことは大いに評価。②社会的弱者に対する住宅政策の抜本的な確立を求める。③17年度の税制改正で高齢者への負担が増。所得税・住民税の節税のため、税制の正しい仕組みを普及させることは区の根本的義務。④介護報酬引き下げ実施で介護従事者の給料が安くなり人員不足が深刻。対策を。財政問題 大震災発生時に必要な復旧経費、それに伴い基金にいくらか積立てたらよいか研究を。行政改革 着実に改革が進行したと評価。民間委託・民営化に加え、コンピュータの活用の実を。教育問題 学校統廃合問題は、大きな関心事であった。今、教科書採用や師範館の問題等も多く区民の、教育委員会への「信」がゆらいでいることを認識すべき。

決算特別委員会の最終日に、各会派の代表から決算の賛否について意見の発表がありました。その一部要旨をお知らせします。

会議録の発行について 本紙掲載の質問と答弁は、一部を抜粋したものです。詳しい内容は、区政資料室、区立図書館、地域区民センター、区民集会所で会議録をご覧ください(12月下旬発行予定)。会議録は、区議会ホームページでもご覧いただけます。

本紙を録音した「声の区議会だより」、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。区内在住の視覚障害一、二級の方と特に希望される方が対象ですので、お知り合いの方へお知らせください。(お申し込みは区議会事務局へ)

監査委員の意見

19年9月27日に代表監査委員が説明した18年度決算等に関する意見の要旨



【各会計歳入歳出決算】

各会計決算の審査にあたっては、計数の正確性、財政運営の健全性、財産管理の適正性などに主眼をおいて実施した結果、決算及び各附属書類の様式は、関係法令に準拠して調製され、計数はいずれも誤りのないことを確認した。

【一般会計】

前年度と比較して、歳入は

前年度と比較して、歳入は六・一％の増、歳出は五・二％の増となっている。また、保険料の収納率は七十七・四％である。

【老人保健医療会計】

前年度と比較して、歳入は

前年度と比較して、歳入は八・二％の増、歳出は七・一％の増となっている。

【総合的判断】

平成18年度は、「人が育ち人が活きる杉並区」の実現に向けて施策を推進するとともに、「小さくても力のある区役所」を目指した区政経営改革も着実に進められた。

特別区債の残高は五百十八億円で、平成14年度と比較すると二百七十一億円の減少となっている。一方、財政調整基金残高は九十八億円で、ともに前年度を大きく上回っている。これらは、将来を見ずえた堅実な財政運営に努めたことの表れと評価できる。

意見書

第3回定例会で次の意見書を議決し、地方自治法第99号の規定に基づき、関係機関に提出しました。

後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書

【提出先】

内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 内閣官房長官

【内容】

現在、平成二十年四月からの施行に向け、後期高齢者医療制度については、全国各地において準備が進められている。

後期高齢者医療制度は、高齢者が安心して医療を受けられるようにするため、その費用は国が責任をもって負担すべきものである。

しかしながら、厚生労働省は、各都道府県の広域連合の所得格差による財政力の不均等を調整するため、交付調整された減額分を、被保険者の保険料に加算しようとしている。

本来、国が負担すべき減額分を保険料に加算することは、諸制度の変更とともに高齢者の負担を増やし、その生活に断片率を視野に入れた行財政運営などにも努められたい。

【基金運用状況】

基金運用状況の審査は、計数の正確性、運用の効率性などに主眼をおいて実施した結果、二つの基金は適正に運用されていると認められたが、「介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金」については、今後、活用状況等を踏まえた検討を要望する。

大きな影響を与えることは必ずである。よって、杉並区議会は、政府に対し、後期高齢者の保険料等に影響を生じさせないため、次の事項を実現するよう強く求めるものである。

一 療養給付に対する定率交付は、十二分の四を確保すること。二 調整交付金は、国において別枠で調整額を確保すること。三 保険料の設定は、高齢者の生活実態に即したものであるよう、国民健康保険の保険料相当とすること。

追いつめられた戦争末期、国内唯一の地上戦が行われた沖繩において、県民が筆舌に尽くしがたい境遇におかれ、多くの戦没者、犠牲者が生まれたことについては、紛れもない事実であり、心からの哀悼の意を表するとともに亡くなられた方々への思いを真摯に受け止め、その体験の持つ重みを日本国民全体で享受し、平和を希求する思いを強く持たなければならぬ。

教科書は、未来を担う子どもたちに事実を伝える重要な役割を担っている。沖繩戦における「集団自決」の事実を正しく伝え、沖繩戦の実相を教訓とすることの重要性や、平和を希求することの必要性を子どもたちに伝えていくことは、我々に課せられた重要な責務である。

【提出先】

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 沖繩及び北方対策担当大臣

【内容】

文部科学省は、本年三月三十日、平成二十年度から使用される高等学校用日本史の教科用図書審査する教科用図書検定調査審議会において、沖繩戦における集団自決の記述について、「沖繩戦の実態の表現である」との検定意見

決議

第三十一回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピックは、スポーツを通じて世界の人々が相互理解と友好親善を深め、平和の実現に大きく寄与する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

を付し、日本軍の関与を削除する修正を行った。これに対する沖繩県民の願いを十分に理解し、その動きを注視するものである。

追いつめられた戦争末期、国内唯一の地上戦が行われた沖繩において、県民が筆舌に尽くしがたい境遇におかれ、多くの戦没者、犠牲者が生まれたことについては、紛れもない事実であり、心からの哀悼の意を表するとともに亡くなられた方々への思いを真摯に受け止め、その体験の持つ重みを日本国民全体で享受し、平和を希求する思いを強く持たなければならぬ。

教科書は、未来を担う子どもたちに事実を伝える重要な役割を担っている。沖繩戦における「集団自決」の事実を正しく伝え、沖繩戦の実相を教訓とすることの重要性や、平和を希求することの必要性を子どもたちに伝えていくことは、我々に課せられた重要な責務である。

よって、杉並区議会は、国会及び政府に対し、平成二十年度から使用される高等学校用日本史教科用図書における沖繩戦の記述に関して、速やかに対策を講じ、速く求めるものである。

平成19年10月17日

平成19年 常任委員会行政視察

Table with columns: 委員会名, 期間, 視察先, 調査内容. Rows include 総務財政, 区民生活, 保健福祉, 都市環境, 文教.

お知らせ

電話番号変更 山田なおこ議員 (民主) 5382-2824 井口かづ子議員 (杉自) 3390-7775 住所・電話番号変更 すぐろ奈緒議員 (社民) 高円寺北2-3-19 1005 6750-8801

東京において再びオリンピックを開催することは、我が国がこれまで培ってきた伝統や文化、先端技術を世界に発信するとともに、戦後一貫して世界平和を希求する強い意思と、多くの都市問題を乗り越え環境にやさしく成熟した東京の姿を示し、改めて世界の平和と発展に貢献する絶好の機会となる。

また、杉並区にとって、オリンピックの東京開催は、未来を担う子どもたちに、世界のアスリートの姿が大きな感動を与え、スポーツを通じた健やかな成長を促すなど、本区が目指す「人が育ち人が活きる杉並区」の実現に向け、大きく貢献するものである。

今後、具体的な財政計画や、施設整備に関連した江東区豊

その後、約半世紀を経て、